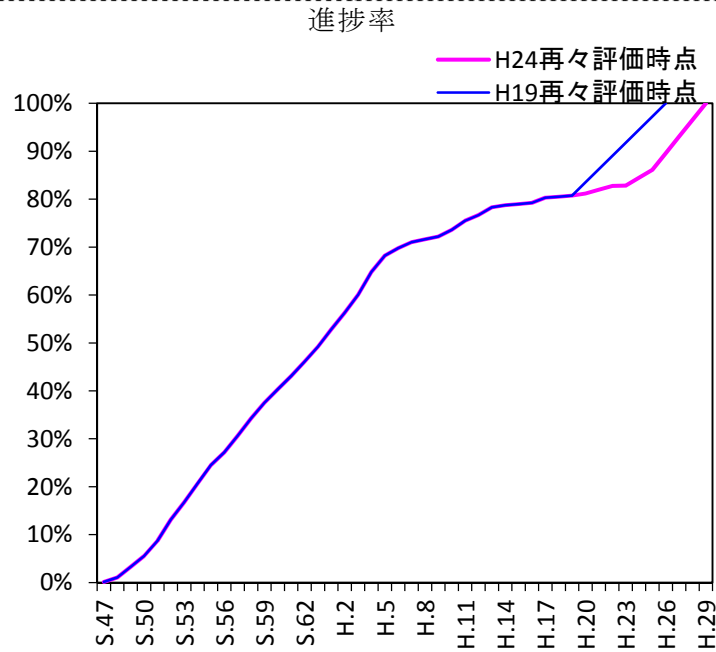


平成 24 年度再評価対象事業
(対象：平成 19 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間 (5年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価時点 H19	有田川 広域河川改修事業 事業主体：県 事業地：伊万里市・有田町	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ・計画流量 1,250m ³ /s ・計画治水安全度 1/50 ・流域面積 79.1km ²	全体事業費：C=154億円 工期：S43～H26 改修延長：L=4,700m 事業内容： 掘削・築堤・護岸、樋管3基、橋梁16基、堰5基	下流部の河床掘削、松浦鉄道橋脚補強を残し改修が完了している。 (H18末進捗率 85%) (年平均進捗率 2.2%)	(過去の災害実績) H2.7 (洪水による) 浸水戸数 55戸 農地浸水面積 1.170ha (地域の状況) 流域内下流部にて、宅地開発が行われ、市街地から進んでいる。	現在(B/C) 1.04		再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H24	有田川 河川整備交付金事業 (広域河川改修事業)		前回評価時より工期が延長した。 全体事業費：C=154億円 工期：S43～H29 改修延長：L=4,700m 事業内容： 掘削・築堤・護岸、樋管3基、橋梁16基、堰5基	下流部の河床掘削を残し改修が完了している。 (H23末進捗率 87%) (年平均進捗率 2.0%)	・佐賀県行財政改革緊急プログラムver. 2.0 (H19～H20) ・〃 ver. 2.1 (H21～H22) ・佐賀県行財政運営計画 2011 (H23～H26) (地域の状況) ・流域内下流部にて、宅地開発が行われ、市街地化が進んでおり、浸水被害防止対策が急務である。 ・残土受入地の調整が見込まれ、今後は円滑な事業進捗が図られる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 ・総便益 (一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額) B=41,925百万円 ・総費用額 C=41,256百万円 ・現在(B/C) 1.02	建設発生土の有効利用(埋立地)により、総合的なコスト削減を図っている。	再評価実施後5年が経過	継続 平成2年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安全を確保するためには、当事業の継続が適当である。
	理由等	平成22年度より補助金が交付金化されたため		・河川環境に配慮した河道掘削を実施していることによる工期の延長。 ・河床掘削(13万m ³)の残土受入地の調整による工期延長。	進捗率 			(環境調査) ・平成16年度に水棲生物調査を実施したところ、ワケシソマ科等の貴重種や多くの魚介類・底生生物の生息が確認されたことから環境調査を行うこととした。 ・平成17年度からモニタリング調査を行い、魚介類・底生生物の生息状況を確認しているが、生物等の復元が確認され、河道掘削による影響は少ないと考えられる。		